

平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

3 4 2 多様化する疾病への対応

(主担当部局 健康福祉部)

- 34201 がん対策の推進 (健康福祉部)
- 34202 難病患者等の支援 (健康福祉部)
- 34203 臓器移植・骨髄バンク等の推進 (健康福祉部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 多様化する疾病を予防し、必要な治療を受けている

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
県内におけるがん死亡 率(人口 10 万人あ たり)(人)	目標値	-	1 2 7 . 0	1 2 4 . 0	1 2 1 . 0
	実績値	1 3 3 . 0	1 2 8 . 4		

三重県における人口 10 万人あたりのがん死亡者数 (年齢調整死亡率)

< 平成 18 年度に残っている課題 >

昭和 56 年以來、日本人の死因の第一位はがんが占めており、今後も、高齢化の進展に伴って罹患率、死亡率ともに上昇することが予測されていることから、患者の視点に立った総合的ながん対策の推進が課題です。

原因不明、治療方法未確立であり、かつ、後遺症を残すおそれが少なくない疾病 (121 疾患) については、難治度、重症度が高い疾患を対象に、引き続き医療費を公費負担するとともに、必要なときに入院できる体制の確保や、日常生活の支援を引き続き行っていく必要があります。

ハンセン病に対する差別や偏見を解消することが必要です。また、療養所に入所している元患者の皆さんが、安心して生活を送ることができるよう支援を継続していく必要があります。

骨髄バンクや臓器移植などについては、県民の正しい理解と協力を得るため、一層充実した啓発が必要です。

< 平成 18 年度の施策の取組方向 >

がん対策に取り組む基本的な方針である「三重県がん対策戦略プラン」に基づいて、患者の視点に立った総合的ながん対策を推進していきます。また、「地域がん診療拠点病院」に指定されている県立総合医療センター、独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター、厚生連松阪中央総合病院、山田赤十字病院を中心に、治療体制や院内がん登録を充実するとともに、県民などへ情報を提供し、患者や家族に対する支援を進めます。

難病 (特定疾患) 患者がいつでも入院できる体制を確保するため、協力病院等の指定を行うとともに、関係機関との連絡会議を開催します。また、三重県難病相談支援センターにおいて療養相談や日常生活相談、交流会など難病患者・家族のニーズに応じたきめ細かな支援を、患者団体と協働して進めます。

「ハンセン病を正しく理解する週間」を中心に積極的な啓発を行います。また、ハンセン病療養所への訪問や里帰り事業を、引き続き実施するとともに、ハンセン病に対する差別や偏見を解消するため、幅広いきめ細やかな啓発活動を行います。

臓器移植、骨髄バンクなどについて、パンフレット・リーフレットの配付など啓発活動に引き続き取り組みます。

<主な事業>

(重) 質の高いがん医療の推進事業【基本事業名：34201 がん対策の推進】

当初予算額： 28,915千円 16,928千円

事業概要：県内において質の高いがん医療を提供するため、「地域がん診療拠点病院」(県立総合医療センター、三重中央医療センター、松阪中央総合病院、山田赤十字病院)を中心に診療体制や院内がん登録を充実するとともに、県民等への情報提供を積極的に行います。

難病相談・支援センター事業【基本事業名：34202 難病患者等の支援】

当初予算額： 15,374千円 10,240千円

事業概要：難病患者の持つ様々なニーズに対応するため、相談、支援、地域活動の促進及び就労支援などを行い、患者等の療養上、日常生活上の悩みや不安等の解消を図ります。

ハンセン病対策事業【基本事業名：34202 難病患者等の支援】

当初予算額： 7,967千円 7,768千円

事業概要：ハンセン病療養所に入所している県出身者等を支援するため、里帰りの実施や専門医による相談等を実施します。また、多くの人にハンセン病を正しく理解していただくため、普及啓発を行います。

臓器移植対策事業【基本事業名：34203 臓器移植・骨髄バンク等の推進】

当初予算額： 5,253千円 5,297千円

事業概要：できるだけ多くの人が移植手術を受けることができる体制を整備するため、(財)角膜・腎臓バンク協会と協働して普及啓発等を実施します。